



ひきこもり支援事業講演会

参加
無料

手話通訳あり
予約不要

経験者が語る「ひきこもり」 ～親や支援者に求めること～

11.1 (土)

時間 10:00-11:30

会場 氏家公民館ホール
さくら市櫻野1322-8

スケジュール

9:30～ 開場（受付）
10:00～ 開会
喜久井 伸哉氏
11:30 閉会



講師 喜久井伸哉氏



【プロフィール】

（きくい・しんや）1987年東京都生まれ。詩人・フリーライター。
「不登校」「ひきこもり」の経験を活かし、執筆活動をおこなっている。
共著に『いまこそ語ろう、それぞれのひきこもり』（日本評論社 2020年）
単著に『詩集 ぼくはまなざしで自分を研いだ』（私家版 2020年）

【来歴】

8歳の頃から学校を長期欠席（「不登校」）し、一般的な学校教育をほとんど受けずに育った。
10～20代の期間に精神的・社会的な孤立状態（「ひきこもり」）を経験。
2005年から2015年までフリースクールに在籍。評論家の芹沢俊介氏の講座を受け、家族論や文学を学ぶ。
2016年『不登校新聞』の記者として執筆・編集の活動を開始。
多くの識者取材し、記事は提携先の『東洋経済オンライン』『ハフィントンポスト』『ヤフーニュース』等、複数の媒体で公開された。
2017年 ひきこもりの当事者・経験者が制作するメディア『ひきこもり新聞』および『ひきぽス』に参加。
以後、フリーライターの活動を本格化させる。
近年の仕事に2023年『KHJジャーナル たびたち』編集参加、2024年『不登校オンライン』連載、2025年季刊誌『SHIP!』編集参加など。
2024年より「新・ひきこもりについて考える会」スタッフ。
「不登校」や「ひきこもり」に関する講演活動もおこなっている。